



グループワークを行う参加者ら

や、障害のある学生支援の取組の推進などについて講演した。また、日本学生支援機構（JASSO）学生生活部長の山本有香氏から「2024、4合理的配慮提供の義務化の現状について」の題目で講義が行われ、JASSOにお

学生文化創造

学生支援に関する研修会実施

NPO法人学生文化創造は10月24日、25日の2日間、「学生支援に関する研修会（障害のある学生の支援）」を、対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、国公私立大学等教職員、合計38名が受講した。

10月24日には研修会に先立ち、無料公開講演会を実施。文科省学生支援課課長補佐の奥井雅博氏が「障害のある学生の修学支援について」と題して、障害のある学生の在籍状況

ける障害学生支援の取組や大学等における障害のある学生の修学支援に関する実態調査などについて説明された。その後、大学（所属校）における障害学生支援の現状と課題について、グループワークが行われた。

10月25日には、前静岡福祉大学子ども学部の小川勲教授を招き、「インクルーシブなキャンパスについて（めざして）」と題して、インクルーシブなキャンパスや多様化する学生と学修支援者等についての講義が行われ、グループワークを実施した。

また、東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫教授から「基本的な考え方の理解と体制整備・文化醸成のための実践について」の題目で、「大学（所属校）で障害学生へのバリアを感じる場面・事例を」について最初にグループワークを行い、その後「学びでのイコールアクセスを保障するー不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供を通じて」について講義した。引き続き、「イコールアクセスの保障（合理的配慮の提供）」についてあなたの困り感は？」についてもグループワークが行われ、各グループから発表が行われた。

その後、グループワークで話し足りなかったことや、名刺交換、情報交換の場として任意参加の懇親会等を実施した。